



菊池武光公生誕700周年記念講演会のステージで連携自治体代表者の皆さんと手を取り合う菊池武光公生誕700周年プロジェクトの田中忠彦実行委員長(左から2番目)と江頭実市長(中央)

1_協議会に加盟した自治体の代表の皆さん 2・3・4・5_連携自治体の住民の皆さんを対象に実施した日帰りバスツアーには約80人が参加。講演会の後、観光ガイドの案内を受けて菊池神社や菊池溪谷の散策を楽しんだ

菊池武光公生誕700周年記念

南北朝・菊池一族 歴史街道プロジェクト始動!

南北朝時代に九州を平定した菊池15代当主・武光公の生誕700周年を迎えた令和元年。

歴史的に縁の深い福岡県内の5自治体と手を取り、広域連携による地域活性化プロジェクトをスタートしました。

広域連携で地域の宝をPR

「バラバラに眠っている歴史が、つながることで物語が生まれ、宝物になる。手を取り合って宝物を磨き、世界に発信して地域を盛り上げていきましょう」

令和元年10月14日、菊池市文化会館で「南北朝・菊池一族歴史街道推進連絡協議会発足式」を開催。福岡県久留米市、八女市、小郡市、うきは市、大刀洗町の4市1町の代表者が一堂に会し、江頭市長のあいさつの後、全員で今後の連携を誓いました。

このプロジェクトは、南北朝と菊池一族の歴史文化資源を持つ自治体が広域連携し、それぞれ

の地域資源を観光PRや文化振興の取り組みに活用することで、地域の活性化につなげることを目的としています。

記念講演会で行った来場者アンケートでは、「菊池一族の歴史が県外でも大切に守られていることに感激した」「ぜひほかの地域にも行ってみたい」「もっと連携の輪を広げてほしい」など、本プロジェクトに期待する声が多数寄せられました。

今後は、統一ロゴマークや歴史街道マップの作成、スタンプラリーなどの取り組みを行うほか、観光・文化イベントや物産展での交流なども進めていく予定です。



一族の歴史が伝わる地

今回連携した福岡県の4市1町では、南北朝時代に活躍した菊池一族の歴史や物語が地域で大切に守られています。その一部をご紹介します。

福岡県小郡市

小郡市には武光が九州制覇に王手をかけた「筑後川の戦い」(大原合戦)にまつわる史跡が残されています。「大原古戦場碑」をはじめ、懐良親王が戦傷の回復祈願の御礼に大中臣神社に植えたとされる「將軍藤」や、戦没者を弔うために作られた「善風塚跡」など、今でも地元の方々の手で大切に守られています。



大原合戦図屏風

福岡県うきは市

うきは市は古来交通の要衝として地の利を巡って争いが絶えず、戦いに備えて山城が多く築られました。「筑後川の戦い」では、亡くなった両軍の兵士を弔うために正平塔が建立されています。南朝方の武将として戦った豪族星野氏は、妙見城を中心に城を構え、征西府の雄として菊池一族とともに最後まで忠義を尽くして戦いました。



耳納連山と筑後川の雄大な自然

福岡県三井郡大刀洗町

大刀洗町は筑後川の戦いの後、山隈原に兵をまとめた武光が流れる小川を渡り、太刀を洗ったとされる故事から名付けられた町です。武光への関心は高く、昭和12年には大刀洗川そばの公園に銅像が建てられました。現在では公園も拡張整備され、家族連れなど多くの方が訪れるスポットとなっています。



大刀洗公園の武光公騎馬像

福岡県久留米市

久留米市には「筑後川の戦い」で懐良親王が陣を張ったことが由来の宮の陣という地名が残っており、親王を祀る宮の陣神社にはお手植えの梅の木の子孫木と伝わる將軍梅があります。また、高良山は筑後攻略の際や大宰府を追われて撤退する際に抛り所となった重要な山で、武光と16代武政の最期の地ともいわれています。



高良大社

福岡県八女市

八女市には、武光や17代武朝と共に戦った懐良・良成両親王の墓が残されており、親王たちを最も身近で支えた五條氏の末裔と地元の人々が、現在も守り続けています。五條家には後醍醐天皇が懐良親王に与えたとされる「金烏の御旗」のほか、南北朝時代当時の文書である五條家文書や鎧などが数多く現存しています。



五條家御旗祭

【問い合わせ先】

菊池一族プロモーション室 ☎0968(25)7267

菊池一族ホームページ

<https://www.city.kikuchi.lg.jp/ichizoku/>



- うきは市
- 小郡市
- 久留米市
- 大刀洗町
- 八女市



菊池市